

2019年 6月 13日

青函共用走行区間の保守工事に伴う一部貨物列車の運休 および発着時刻変更について

青函共用走行区間（青函トンネル含む）において、2019年6月9日から7月28日までの毎週日曜日に、設備の交換や更新を進めるために必要な保守作業時間を拡大して工事を実施しています。（保守工事内容については「別紙1（2019年1月18日発表資料）」をご確認ください。）

このため、一部の貨物列車を運休および発着時刻変更いたしますので、ご利用のお客様には大変ご不便をおかけいたしますが、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

1. 運休

- ・名古屋(夕)発 2019年7月7.14.21.28日（各日曜日）
第96～1096～3087列車（名古屋(夕)～札幌(夕)） 全区間運休
- ・百済(夕)発 2019年7月6.13.20.27日（各土曜日）
第5086～3083～83列車（百済(夕)～札幌(夕)） 全区間運休

2. 発着時刻変更

始発日	列車番号	運転区間	所定時刻	変更時刻
2019年7月 7.14.21.28日	3055	隅田川～札幌(夕)	3057列車(隅田川発17:02、札幌(夕)着9:56)時刻で運転	
	4091～3091	吹田(夕)～札幌(夕)	札幌(夕)着 5:15	→ 札幌(夕)着 11:14
	94	札幌(夕)～新座(夕)	札幌(夕)発 15:13	→ 札幌(夕)発 11:45
	2060～4060	札幌(夕)～大阪(夕)	札幌(夕)発 17:00	→ 札幌(夕)発 12:59

※(夕)は貨物ターミナル駅の略です。

※なお「別紙2」で2018年8月31日にお知らせしました、同年9月から実施している保守工事に伴う北海道内の一部列車の曜日等による運休及び運転時刻の変更については、引き続き実施いたしますので、重ねてご理解をいただきますようお願いいたします。

2019年1月18日
日本貨物鉄道株式会社
北海道旅客鉄道株式会社

青函共用走行区間の保守工事に伴う貨物列車の運休について

青函共用走行区間（青函トンネル含む）において、北海道旅客鉄道株式会社（以下、JR北海道）は、2019年6月9日から7月28日までの毎週日曜日に設備の交換や更新を進めるために必要な保守作業時間を拡大して工事を実施いたします。

このため、一部の貨物列車を計画的に運休することになりますので、ご利用のお客様には大変ご不便をおかけいたしますが、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

1. 青函共用走行区間でJR北海道が実施する主な保守工事

架線等（貨物列車や新幹線に電力を供給する重要な設備）の交換には連続6時間程度の保守間合いが必要となります。そのため、青函共用走行区間における通常の保守間合いを大幅に拡大し、安全・安定輸送の確保に努めるため、計画的に交換工事を進めます。

2. 貨物列車の運転計画の変更

詳細については別紙のとおりです。

なお、昨年8月31日にJR貨物のホームページにてお知らせしました、昨年9月から実施している保守工事に伴う北海道内の一部列車の曜日等による運休及び運転時刻の変更については引き続き実施いたしますので、重ねてご理解をいただきますようお願いいたします。

別紙

青函共用走行区間の保守工事に伴う貨物列車の運休及び時刻の変更について

1. 運休列車

名古屋(夕)発 2019年6月9.16.23.30日(各日曜日)

第3072～3074～3087列車(名古屋(夕)～札幌(夕)) 全区間運休

百 済(夕)発 2019年6月8.15.22.29日(各土曜日)

第5086～3083～83列車(百済(夕)～札幌(夕)) 全区間運休

2. 発着時刻の変更

始発日	列車番号	運転区間	所定時刻	変更時刻
2019年6月 9.16.23.30日	3055	隅田川～札幌(夕)	3057列車(隅田川発17:02、札幌(夕)着9:56)時刻で運転	
	4091～3091	吹田(夕)～札幌(夕)	札幌(夕)着 5:15	➡ 11:14
	94	札幌(夕)～新座(夕)	札幌(夕)発 15:13	➡ 11:45
	2060～4060	札幌(夕)～吹田(夕)	札幌(夕)発 17:00	➡ 12:59

※7月以降の運転計画については別途ご案内いたします。

2018年8月31日
 北海道旅客鉄道株式会社
 日本貨物鉄道株式会社

9月以降の青函共用走行区間の保守工事等の概要及びそれに伴う運行計画について

1988年3月の開業から約30年を経過した青函トンネルについて、今後の設備の故障等による輸送障害のリスクを軽減し、効率的な工事を実施することを目的として、北海道旅客鉄道株式会社（以下、JR北海道）および日本貨物鉄道株式会社（以下、JR貨物）は、青函トンネルを含む青函共用走行区間において、将来にわたる同区間の安全・安定輸送の維持管理を図るため、線路を保守する時間帯についての協議を行ってまいりました。

その結果、9月1日から当面の間、以下のとおり深夜・早朝帯の北海道新幹線を含めた旅客列車および貨物列車の運転時刻を変更し、保守作業時間を拡大して設備の交換や更新を計画的に進めます。

1. 9月以降、青函共用走行区間で実施する主な保守工事

列車の安全・安定輸送を確保するために、青函共用走行区間の保守作業時間を拡大して、工事を実施いたします。

なお、保守作業時間については、曜日等により列車の運転時刻を変更して、3時間～5時間程度の時間確保を計画しています。

[主な保守工事]

- ・経年による損傷、摩耗、腐食が発生している在来線レールの交換
- ・経年により摩耗が進行している新幹線や貨物列車に電力を供給する架線等の交換
- ・その他、レール締結装置交換、軌道スラブ補修、電気設備の修繕・更新等

2. 9月1日以降の運行計画について

(1) 旅客列車

7月19日公表の通り

※曜日等によって運転時刻の変更がありますので、ご利用の際は時刻表、駅頭掲示およびJR北海道ホームページ等でご確認ください。

(2) 貨物列車

運転時刻の変更を行う貨物列車は、1日あたり最大22本（下り7本、上り15本）

※曜日等により変更がありますので、詳細については、JR貨物ホームページご参照の上、最寄の営業窓口にお問合せください。

[時刻を変更する列車本数一覧]

列車	下り影響	上り影響	
北海道新幹線	なし	1本	最大5分繰り上げ
特急列車（スーパー北斗）	2本	3本	最大6分
普通列車	8本	8本	最大34分
道南いさりび鉄道	1本	1本	
貨物列車	7本	15本	最大322分